

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	5月20日(土)	第3回海洋開発シンポジウム 第58回通常総会 映 画 会 ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会 第12回地震工学研究発表会 第8回水工学に関する夏期研修会 膨脹性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム 昭和47年度夏期講習会 第5回土木計画学講習会 同 昭和47年度全国大会	土 木 学 会	4号本文 126 参照
	5月29日(月)		東 京	本号本文 128 "
	6月10日(土)		土 木 学 会	本号本文 129 "
	6月27日(火)		東 京	本号本文 129 "
	7月18日(火)		土 木 学 会	本号本文 130 "
	7月19日(水)		同	本号本文 132 "
	7月26日(水)			
	7月26日(水)		同	本号本文 128 "
	8月3日(木)			
	8月24日(木)		東 京	本号本文 133 "
	8月30日(水)			
	8月31日(木)		土 木 学 会	本号本文 134 "
9月4日(月)				
9月5日(火)	大 阪 市	本号本文 134 "		
9月11日(月)				
9月12日(火)	福 岡 市	本号本文 128 "		
10月20日(金)				
10月22日(日)				
関 西 支 部	5月17日(水)	第45回支部総会 年次学術講演会 講 習 会 講 習 会	大 阪 市	4号本文 137 "
	6月5日(月)		同	本号本文 138 "
	6月27日(火)		同	本号本文 139 "
	7月25日(火)		同	本号本文 138 "
中国四国支部	5月25日(木)	支部総会および特別講演会 年次学術講演会 見学会	高 松 市	4号本文 138 "
	5月26日(金)		同	4号本文 138 "
	5月26日(金)		同	4号本文 138 "
そ の 他	5月25日(木)	第3回安全工学国内シンポジウム 第10回接着研究発表会「複合材料と接着」シンポジウム	東 京	本号本文 137 "
	6月7日(水)		同	2号本文 148 "
お 知 ら せ	■ 土木学会昭和47年度全国大会・第27回年次学術講演会実施要領			4号本文 124 "
	■ 第19回海岸工学講演会講演募集			本号本文 135 "
	■ 「荷重、外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集			本号本文 135 "
	■ 第5回「土木学会映画コンクール」作品募集			本号本文 131 "
	■ 構造物の耐風性に関する第9回シンポジウム			本号本文 136 "
	■ 第9回衛生工学研究討論会講演募集			本号本文 136 "
■ 第16回材料研究連合講演会講演募集			4号本文 140 "	

支 部 所 在 地

- 北海道支部：郵便番号 060・札幌市南1条西2丁目・勸銀ビル5階 (電 011-251-7038)
- 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町 18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
- 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
- 中部支部：郵便番号 450・名古屋市中村区笹島町1丁目 232番地 近畿日本鉄道(株)
鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 (電 052-582-3311・内線 251)
- 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
(電 06-271-6686)
- 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町 10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
- 西部支部：郵便番号 810・福岡市薬院2丁目14番12号 (電 092-78-3716)

第 58 回通常総会のお知らせ <於東京>

▶ 5 月 29 日 (月) ◀

昭和 47 年の通常総会は、下記のとおり東京において開催しますのでお知らせします。

1. 期 日：1972 年 5 月 29 日 (月) 14.00~18.00
2. 場 所：私学会館講堂 (東京都千代田区九段北 4-2-25)
(国電中央線市ヶ谷駅下車徒歩 3 分)
3. 総 会：14.00~15.30
 事 業 報 告
 決 算 報 告
 名 誉 会 員 の 推 挙
 土 木 学 会 賞 の 授 与
 新 役 員 の 紹 介
4. 特別講演：15.30~16.30 超高速新幹線について (仮題) 国鉄常務理事 長 浜 正 雄
5. 懇 親 会：16.40~18.00 私学会館ホール 会費：1500 円 (当日受付)

土木学会昭和 47 年度全国大会案内 <於福岡市>

▶ 10 月 20 日 (金)~22 日 (日) ◀

土木学会昭和 47 年度全国大会は、第 27 回年次学術講演会、特別講演会、研究討論会、映写会、懇親会および見学旅行会を次の日程で開催いたします。

懇親会、見学旅行会および講演概要集の申込方法は、本誌 7 月号でお知らせ致します。

1. 特別講演会：昭和 47 年 10 月 20 日 (金) 9.00~12.00 於 九州大学記念講堂

講演者：土 木 学 会 長 岡 本 舜 三
九州山口経済連合会専務理事 浜 正 雄
福岡県文化財専門委員 築 紫 豊

2. 第 27 回年次学術講演会：

昭和 47 年 10 月 20 日 (金)	13.00~16.00	}	於 九州大学
21 日 (土)	9.00~16.00		
22 日 (日)	9.00~17.00		

3. 研究討論会

昭和 47 年 10 月 20 日 (金) および 21 日 (土) 16.00~17.30 於 九州大学

4. 映 写 会：

昭和 47 年 10 月 20 日 (金)	13.00~16.00	}	於 九州大学
21 日 (土)	9.00~16.00		
22 日 (日)	9.00~16.00		

5. 懇 親 会：

昭和 47 年 10 月 21 日 (土) 18.30~20.00 於 西鉄グランドホテル

6. 見学旅行会：

大会終了後行なうよう計画中である。

“ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針”講習会

▶ 6月27日(火) ◀

岩盤力学委員会第1分科会において作成中でありました現場技術者のための“ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針”が近く刊行されることになりました。

つきましては、同指針の刊行を機会に標記講習会を下記により開催致しますので、多数ご参加下さいますようご案内致します。

主催：土木学会岩盤力学委員会

1. 期 日：1972年6月27日(火)
2. 会 場：発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17)
地下鉄虎ノ門下車徒歩3分。TEL(03)502-0511
3. 参加費(テキスト代を含む)：会員 2000円, 非会員 2500円
◎テキスト：ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針
A5判, 活版 100ページ程度
4. 定 員：350名
5. 申込方法：参加ご希望の方は ①氏名, ②勤務先および所属, ③連絡先住所を明記のうえ, 参加費を同封し, 現金書留にて, 下記宛お申込み下さい。なお, 定員は350名で締切りますので, お早目をお願い致します。

6. 申込締切期限：1972年6月13日

7. 申 込 先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課 電話(03)351-5139

8. 題目および講師

9.30~9.40	開会あいさつ	土木学会岩盤力学委員会委員長 岡本 舜 三
9.40~9.50	総 括	水資源開発公団 山口 登
9.50~10.50	グラウチングのための調査	八千代エンジニアリング 飯島 弘
10.50~12.20	グラウチングの施工	ケミカルグラウト 氏平 長門
12.20~13.20	昼食・休憩	
13.20~14.20	注入における要素, ケミカルグラウチング	建設省 柴田 功
14.20~15.20	コンソリデーショングラウチング	新日本技術コンサルタント 溝口 且元
15.20~15.30	休 憩	
15.30~17.00	カーテングラウチング	東京電力 石井 清

映画会開催について<於土木学会講堂>

▶ 5月13日(土) ◀

1. 場 所：土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)

2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00~6月は10日(土)です。

3. 上映映画：6月は、次の映画を予定しています。

「本牧埠頭」	41分	運輸省第2港湾建設局提供
「蛇紋岩トンネル掘さくの記録」	30分	日本鉄道建設公団提供
「多摩川をわたる沈埋トンネル」	30分	日本鉄道建設公団提供

なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。

4. 参加費：無 料 土木関係以外の方も歓迎致します。

本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。

共 催：土木学会関東支部

第 12 回地震工学研究発表会

▶ 7 月 18 日 (火) ~ 19 日 (水) ◀

標記研究発表会を下記により開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。

1. 期 日：1972 年 7 月 18 日 (火) ~ 19 日 (水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目, 国電, 地下鉄四ツ谷駅下車徒歩 5 分 外濠公園内) 電話 (03) 351-5138 番
3. 主 催：土木学会耐震工学委員会
4. プログラム：○印は講演者

第 1 日：7 月 18 日 (火)

- | | | |
|---------------|--|--|
| 9.30 ~ 9.40 | 開会あいさつ | 土木学会耐震工学委員会委員長 岡本舜三 |
| 9.40 ~ 9.55 | (1) 砂の任意波動的三軸試験 | 東京大学地震研究所 浅野照雄 |
| 9.55 ~ 10.10 | (2) 地震波による砂の液状化 | 東京大学工学部 石原研而・○安田 進 |
| 10.10 ~ 10.25 | (3) セラチン等地震模型振動実験材料の弾性特性 | 建設省土木研究所 栗林栄一・木本正則 |
| | | 建設省近畿地方建設局 辻 勝成・KK福山コンサルタント ○佐藤 進・石沢久邦 |
| 10.25 ~ 10.40 | (4) セラチンを用いた動的光弾性実験 一土構造物における波動現象の解析一 | 東京大学生産技術研究所 ○森地重暉・加藤勝行 |
| 10.40 ~ 11.00 | 討 議 (1) ~ (4) | |
| 11.00 ~ 11.10 | 休 憩 | |
| 11.10 ~ 12.10 | [特別講演] 地質学的にみた被害地震と断層 | 東京大学助教授 松田時彦 |
| 12.10 ~ 13.10 | 昼食・休憩 | |
| 13.10 ~ 13.25 | (5) ロックフィルダムの地震時の挙動について | 電力中央研究所技術第 2 研究所 ○高橋 忠・沢田義博・國生剛二
関西電力KK 大長昭雄・手塚昌信・KK新日本技術コンサルタント 園井仁彦 |
| 13.25 ~ 13.40 | (6) ロックフィルダムの常時微動測定 | 大成建設KK 広野正道・東京大学生産技術研究所 片山恒雄
大成建設KK ○浜田政則・堀米昇士朗 |
| 13.40 ~ 13.55 | (7) ロックフィルダムの振動破壊実験について | 埼玉大学理工学部 岡本舜三・東京大学生産技術研究所 ○田村重四郎・加藤勝行 |
| 13.55 ~ 14.10 | (8) 八郎潟干拓堤防の地震動特性 (第 2 報) | 東北大学工学部 河上房義・東北工業大学工学部 ○浅田秋江 |
| 14.10 ~ 14.25 | (9) 常時微動による構造物の減衰常数推定の問題点 | 九州大学工学部 小坪清真・○鳥野 清・KK大林組 串間正敏 |
| 14.25 ~ 14.40 | (10) 地震時における地中応力と地表面加速度の関係 | 京都大学防災研究所 土岐憲三 |
| 14.40 ~ 14.55 | (11) 加速度応答倍率スペクトルの分布について | 東京大学生産技術研究所 片山恒雄 |
| 14.55 ~ 15.30 | 討 議 (5) ~ (11) | |
| 15.30 ~ 15.40 | 休 憩 | |
| 15.40 ~ 15.55 | (12) 弾塑性 1 自由度構造物の地震応答解析一等価線形化解決法の適用性一 | 京都大学工学部 後藤尚男・○家村浩和
北海道開発局土木試験所 井藤昭夫 |
| 15.55 ~ 16.10 | (13) ロッキングを考慮した多自由度系の振動について | 九州大学工学部 小坪清真・九州工業大学工学部 ○高西照彦 |
| 16.10 ~ 16.25 | (14) 構造物一地震系のモデル化と地震応答解析 | 京都大学工学部 園井隆弘 |
| 16.25 ~ 16.40 | (15) 非線形型応答が示す減衰の効果について | 京都大学工学部 亀田弘行 |
| 16.40 ~ 16.55 | (16) 構造物の不規則地震応答に関する一考察 一応答包絡線による最大応答の推定法一 | 運輸省港湾技術研究所 林 聡・稲富隆昌・○土田 肇 |
| 16.55 ~ 17.10 | (17) 鋼抗核橋の非弾性応答と耐震性 | 運輸省港湾技術研究所 林 聡・稲富隆昌・○土田 肇 |
| 17.10 ~ 17.40 | 討 議 (12) ~ (17) | |

第 2 日：7 月 19 日 (水)

- | | | |
|---------------|-------------------------------|--|
| 9.30 ~ 9.45 | (18) 本州四国連絡橋橋脚地盤系の耐震実験 | 本州四国連絡橋公団設計第 2 部 吉田 巖
建設省土木研究所 ○栗林栄一・岩崎敏男・若林 進・福田富三 |
| 9.45 ~ 10.00 | (19) 地震動を受けるつり橋塔基礎系の最適設計 | 京都大学工学部 ○山田善一・鹿島建設KK 坂本良夫 |
| 10.00 ~ 10.15 | (20) 5 径間吊橋の地震応答 | 建設省土木研究所 栗林栄一・○飯田 裕・福田富三
建設省関東地方建設局 高場正富 |
| 10.15 ~ 10.30 | (21) 耐震設計におけるグラフィックディスプレイの応用 | 京都大学工学部 山田善一・○古川浩平 |
| 10.30 ~ 10.50 | 討 議 (18) ~ (21) | |
| 10.50 ~ 11.00 | 休 憩 | |
| 11.00 ~ 12.00 | [特別講演] 耐震工学に望む | 国士館大学教授 沼田政矩 |
| 12.00 ~ 13.00 | 昼食・休憩 | |
| 13.00 ~ 13.15 | (22) サンフェルナンド地震における高架橋被害の静的検討 | 建設省土木研究所 栗林栄一・岩崎敏男・日本技術開発KK 工藤慎一
日本技術開発KK 石川喜男・○岸本俊雄 |
| 13.15 ~ 13.30 | (23) サンフェルナンド地震における高架橋被害の動的検討 | 建設省土木研究所 栗林栄一・岩崎敏男
建設省関東地方建設局 高場正富・日本技術開発KK 五十嵐 功・○佐竹正行 |
| 13.30 ~ 13.45 | (24) 設計震度決定における経済的考察 | 埼玉大学理工学部 ○岡本舜三・建設省土木研究所 栗林栄一
東京大学生産技術研究所 田村重四郎 |

13.45~14.00	(25) 地震火災時避難に関する一考察	東京大学地震研究所 久松喜彦・○伯野元彦
14.00~14.20	討 議 (22)~(25)	
14.20~14.30	休 憩	
14.30~14.45	(26) Los Angeles 市水道管震害の特性	東京大学生産技術研究所 久保慶三郎
14.45~15.00	(27) 地中埋設管の動特性について	京都大学工学部 後藤尚男・京都大学防災研究所 土岐憲三・○高田至郎
15.00~15.15	(28) 沈埋トンネルの応答解析について	東京大学生産技術研究所 田村重四郎・首都高速道路公団 岡田郁生・大成建設KK ○浜田政則
15.15~15.30	(29) 沈埋トンネルの地震応答	建設省土木研究所 ○岩崎敏男・若松 進・若月高晴 建設省近畿地方建設局 辻 勝成
15.30~15.45	(30) 沈埋トンネルの地震応答解析について	KK大林組技術研究所 ○後藤洋三 KK大林組機械計算部 太田 順・KK東洋情報システム 佐藤拓男
15.45~16.00	(31) 沈埋トンネル耐震設計用スペクトルについて	運輸省港湾技術研究所 青木義典
16.00~16.30	討 議 (26)~(31)	
16.30~16.40	閉会あいさつ	

5. 講演概要：当日会場にて実費（定価未定）頒布致します。

6. 懇親会

下記により開催致しますのでご希望の方は氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ、会費を添えて土木学会事業課宛お申込み下さい。

- (1) 日 時：7月18日（火）18.00～
- (2) 場 所：土木学会土木図書館5号室
- (3) 会 費：1000円
- (4) 定 員：50名

第5回「土木学会映画コンクール」作品募集 (旧称 国土開発映画コンクール)

土木学会は過去4回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催してまいりましたが、今回より「土木学会映画コンクール」と名称を改め下記要項により開催致しますので、ご応募下さいますよう、また、関係の向きにおすすめ下さいますようお願い申し上げます。

本映画コンクールも回を重ねるごとに応募作品も増え、また、質的な向上とも相まって土木技術の普及、発展に大いに寄与することができたと自負致しております。

奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

「土木学会映画コンクール」募集要項

1. 内 容：土木事業または土木技術を中心としたもの
2. 規 格：16mm カラーフィルム トークー 昭和45年10月以降完成の作品に限る
3. 締 切：昭和47年9月30日
4. 申 込 先：社団法人 土木学会編集課（東京都新宿区四谷1丁目 電話 03(351)5130）
5. 審 査：土木学会映画審査委員会
6. 賞 賞：最優秀賞1編、優秀賞2編、準優秀賞3編、賞状ならびに賞牌
(該当作品のない場合は変更することがあります)
7. 発 表 会：昭和47年12月9日（土） 土木学会土木図書館講堂

- なお、土木学会選定映画はコンクール候補作品と致しますので、再提出して頂きます。
- 応募希望者は申込先へ申込用紙をご請求下さい。

第 8 回水工学に関する夏期研修会

▶ 7 月 26 日 (水) ~ 8 月 3 日 (木) ◀

第 8 回水工学に関する夏期研修会を下記により開催いたしますのでふるってご参加下さいますようお願いいたします。

1. 開催期日：1972 年 7 月 26 日 (水) ~ 8 月 3 日 (木)
2. 会 場：社団法人土木学会土木図書館講堂
(東京都新宿区四谷 1 丁目, Tel. 351-5138 国電, 地下鉄四谷駅四谷口下車徒歩 5 分 外濠公園内)
3. 対 象：大学終了程度
4. 題目・講師および日程 (題目は多少変更することがあります)

A コース：7 月 26 日 (水) ~ 7 月 29 日 (土)

7 月 26 日 (水)	9.00~10.00	[特別講義] 水資源開発上の諸問題	東京工業大学	吉 川 秀 夫
	10.00~12.30	ダムの水理	電力中央研究所	安 芸 周 一
	13.30~16.30	各種流出モデルの比較	建設省土木研究所	木 下 武 雄
7 月 27 日 (木)	9.00~12.00	水理学水文学におけるシステム解析	東京工業大学	日 野 幹 雄
	13.00~15.00	河道平面計画	自由学園	木 下 良 作
	15.00~17.00	治水史的にみた利根川の特性	東京大学	高 橋 裕 裕
7 月 28 日 (金)	9.00~12.00	河口問題と現地調査	建設省土木研究所	須 賀 亮 三
	13.00~15.00	土石流調査	京都大学防災研究所	奥 田 節 夫
	15.00~17.00	広域利水調査	経済企画庁	中 沢 式 仁
7 月 29 日 (土)	9.00~12.00	移動床流れの粗度と河床形状 (I)	北海道大学	岸 力 力
	13.00~15.30	移動床流れの粗度と河床形状 (II)	京都大学防災研究所	芦 田 和 男
	15.30~16.30	水理学の国際的動向	中央大学	林 泰 造
	16.30~16.50	終了式		

B コース：7 月 31 日 (月) ~ 8 月 3 日 (木)

7 月 31 日 (月)	9.00~12.30	波の理論	東京工業大学	椎 貝 博 美
	13.30~16.30	越波およびはい上り	建設省土木研究所	橋 本 宏
8 月 1 日 (火)	9.00~12.00	高潮・津波 (数値解析を中心として)	理化学研究所	宇野木 早 苗
	13.00~16.00	最近の漂砂対策工法	運輸省港湾技術研究所	佐 藤 昭 二
8 月 2 日 (水)	9.00~12.00	沿岸海洋における拡散予測	電力中央研究所	和 田 明
	13.00~15.00	沿岸付近の流れ	東京大学	堀 川 清 司
	15.00~17.00	臨海レクリエーション施設	東海大学	酒 匂 敏 次
8 月 3 日 (木)	9.00~12.00	海洋構造物の諸問題	運輸省港湾技術研究所	伊 藤 喜 行
	13.00~15.00	沿岸海洋に関する水理模型実験	京都大学防災研究所	樋 口 明 生
	15.00~17.00	[特別講義] クノイド波理論の実用化	京都大学	岩 垣 雄 一
	17.00~17.20	終了式		

5. 定 員：A コース 130 名 B コース 130 名
6. 参 加 費：1 コースにつき 6000 円 (テキスト代を含みます)
7. 申込み方法：受講希望者は、① 氏名、② 勤務先および職名、③ 連絡先住所、④ コース名を明記のうえ参加費 (現金書留) を添えてお申込み下さい。
8. 申 込 先：社団法人土木学会事業課 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 電話東京 (03) 351-5138)
9. 申 込 期 限：7 月 6 日 (木)

昭和 47 年度夏期講習会

▶ 8 月 30 日 (水) ~ 31 日 (木) ◀

最近、市街地における土木工事の複雑化やガス爆発事故、酸素欠乏現象の発生等から、建設省の「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」が改正されたこと等を考慮し、本年度は「市街地土木工事の仮設と安全対策」のテーマにより夏期講習会を開催いたします。本講習会では市街地における土木工事の施工に当って遵守すべき前記要綱を中心に下記テーマにつき現在第 1 線で活躍中の方々により詳細に講習されることになっており、斯界進展に資するところ大であると思われまますのでふるって参加されるようおすすめします。

1. 期 日：1972 年 8 月 30 日 (水), 31 日 (木) の 2 日間
2. 場 所：厚生年金会館小ホール (新宿区番衆町 19・Tel. 356-1111)
3. 参加費：会 員 4 000 円, 非会員 4 500 円 (予定, 含テキスト代)
4. テキスト：市街地土木工事の仮設と安全対策

5. 内 容：

(8 月 30 日)

- | | | |
|-------------|------------------------|----------------------------|
| 9.45~10.00 | 開 会 換 拶 | 土木学会長 |
| 10.00~11.00 | 市街地土木工事公衆災害対策要綱の改正について | 建設省計画局建設業課専門官 鈴木恒夫 |
| 11.00~12.00 | 市街地における工事現場の安全対策 | 帝都高速度交通営団建設本部工事第 1 課長 蟻川達郎 |
| 12.00~13.00 | 昼 食 休 憩 | |
| 13.00~14.00 | 作業場付近の交通対策 | 警視庁交通部交通規制課 |
| 14.00~15.00 | 営業線近接工事の安全対策 | 日本国有鉄道東京第 3 工事局次長 田中和夫 |
| 15.00~15.15 | 休 憩 | |
| 15.15~16.15 | 埋設物の保安処理 | 東京ガス(株)供給管理室 山口靖之 |
| 16.15~17.15 | 酸 素 欠 乏 症 | 労働省安全衛生部労働衛生課 中西吉造 |

(8 月 31 日)

- | | | |
|-------------|----------------|-----------------------|
| 9.30~10.30 | 土 留 工 | 鹿島建設(株)土木部技術課長 堀井陽三 |
| 10.30~11.30 | 路 面 覆 工 | 東京都交通局第 1 建設事務所長 吉田収一 |
| 11.30~12.30 | 昼 食 休 憩 | |
| 12.30~13.30 | 重量物の運搬と架設 | 横河工事(株)工務部長 高岡司郎 |
| 13.30~14.30 | 市街地における杭打ち作業 | 前田建設工業(株)東京支店 中野衛 |
| 14.30~14.45 | 休 憩 | |
| 14.45~15.45 | コンクリート地下連続壁の施工 | (株)大林組技術部設計課主任技師 東浦信光 |
| 15.45~16.45 | 足場と支保工 | 大成建設(株)安全課主任 黒沢透 |
| 16.45~17.00 | 閉 会 換 拶 | 土木学会行事企画委員会委員長 森 茂 |

6. 申込方法：本誌 6 月号添付の申込書に必要事項を記入のうえ、参加費を添えて 8 月 10 日までにお申込下さい。なお、定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。

7. 申 込 先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課

第5回土木計画学講習会

▶ 東京会場 9月4日(月)～5日(火) ◀
▶ 大阪会場 9月11日(月)～12日(火) ◀

昭和43年8月に第1回の土木計画学講習会を開催いたしましたから、はやくも本年で5年目の夏を迎えようとしております。この間「ネットワーク手法」「資料整理」「将来予測」「計画手法と情報の抽出」「PERT CPM」「PPBS」「待ち行列」「割当て」「最適化手法」などを主題としまして4回の講習会を開き、多くの参加者を迎えて、大きな成果をあげてまいりました。

本年は、これら上記の成果をふまえて、とくに「費用便益分析の手法」を主題として、土木以外の講師もお迎えして実施することといたしました。

周知のとおり、土木計画の経済的側面からの評価に際して、費用便益分析は最も一般的に用いられているものであります。しかし、実際に分析などの作業に際しましては、その調査・測定・評価にしばしば苦心するところであります。

今回の講習会は、その内容・講師・時期など適切かつ充実したものでありますので、より多くの関係者の参画をお待ちするところであります。

1. 主 題：土木計画における費用便益分析

2. 主 催：土木学会土木計画学研究委員会

3. 期 日：

▶東京会場：1972年9月4日(月)～9月5日(火) 於 土木学会図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内/国電・地下鉄四ツ谷駅四谷口下車徒歩5分/電話(03)351-5138番)

▶大阪会場：1972年9月11日(月)～9月12日(火) 於 大阪科学技術センター4階401号室(大阪市西区靱1丁目118番地/地下鉄四ツ橋線本町下車北へ150m、靱公園北東角地/電話(06)443-5321番)

4. プログラム：(第1日)

9.30～9.40	開会あいさつ	
9.40～11.40	費用便益分析の理論的背景	東工大 阿部 統
12.40～14.40	公共投資における経済分析	運輸省 大塚 友則
15.00～17.00	交通計画における費用便益分析	東工大 菅原 操

(第2日)

9.30～11.30	河川計画における費用便益分析	建設省 佐々木 才郎
12.30～14.30	道路計画における費用便益分析	建設省 山根 孟
14.45～16.45	港湾計画における費用便益分析	運輸省 川崎 芳一
16.45～16.55	閉会あいさつ	

5. 参 加 費：会員 @3500円、会員外 @4000円(ただし、テキスト代を含む)

6. 申込み方法：参加希望者は、A4判大の用紙に、①氏名、②所属官職名、③連絡先(住所・氏名・郵便番号・職場/自宅区分、を明記のこと)、④会員区分、⑤連絡事項、を明記のうえ、参加費を添えて現金書留で下記あて申込んで下さい。ただし、前金が不都合な際は、上記①～⑤項を明記の用紙を下記あて送付して下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事務局土木計画学講習会係 電話(03)351-5130番

第 19 回海岸工学講演会講演募集

第 19 回海岸工学講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方は講演募集要項をご参照のうえご応募下さい。

なお、期日に遅れたものは受け付けられませんのでご注意ください。

1. 開催期日：1972 年 11 月 13 日（月）、14 日（火）
2. 場 所：第 1 会場：日消ホール（東京都港区西久保明舟町）地下鉄虎ノ門下車徒歩 3 分
第 2 会場：発明会館（ “ ” ）
3. 講演申込締切：1972 年 5 月 31 日（水）必着
4. 講演原稿締切：1972 年 7 月 15 日（土）必着
5. 講演募集要項：
 - (1) 講演申込みの際には、次の事項を記載して下さい。
 - ① 講演題目
 - ② 著者名（連名の場合には登壇者に○印をつける）ならびに職名および連絡先住所
 - ③ 刷上り予定ページ数
 - ④ 論文要旨（800 字程度）
 - (2) 同一内容の講演を一緒に 2 つ以上申込みとおよび同一著者が重複して登壇するものは受けません。
 - (3) 原稿 1 編の長さは原則として 5 ページ以内（350 字詰原稿用紙 30 枚以内（図、表、写真を含む））と致します。
 - (4) 原稿の内容により 5 ページ以内に収録することが困難な場合は著者に実費（超過 1 ページにつき 7 500 円）を負担していただきます。
 - (5) 講演の採否については、海岸工学委員会にご一任下さい。
 - (6) 講演原稿は“原稿執筆要項”に基づき執筆していただきます。なお、採用講演には原稿執筆要項を原稿用紙と一緒に送付致します。
 - (7) 講演申込先および連絡先
〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 社団法人土木学会海岸工学委員会
電 (03) 351-5138 (代表)

「荷重、外力と構造物の安全性」に関する研究発表論文募集

（第 19 回橋梁・構造工学研究発表会）

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を、本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。趣旨につきましては本誌 56 巻 3 号（昨年 3 月）にも予告致しましたが、多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は、できましたらパネル討論のようなものも企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日：1972 年 12 月 1 日（金）
2. 会 場：（未定）
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. 申 込 要 領：
 - (1) 内容：次の各項に関する独創的な実験あるいは理論的研究を対象とする。
 - ① 荷重の実態と構造物の安全性との関係
 - ② 動的外力に対する構造物の応答と安全性
 - ③ 大規模構造物における安全性評価上の諸問題
 - (2) 申込方法：8 月末日までに論文題目、発表者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先および連絡先と、100 字以内の内容概要を添えて、学会宛お申込み下さい。採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうへは、10 月 15 日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。

膨脹性セメント混和材を用いたコンクリートに関するシンポジウム

< 於土木学会講堂 >

▶ 8 月 24 日 (木) ◀

標記題目のシンポジウムを下記により開催いたしますので、論文提出希望者はふるってご応募下さいますようお願いいたします。

1. 主 催：土木学会コンクリート委員会
2. 日 時：1972 年 8 月 24 日 (木)
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂
4. 論文内容：膨脹性セメント混和材を用いたコンクリートに関するものとし、設計および施工管理に関連したものも含まれます。
5. 申込方法：5 月 20 日までに標題および連絡先を明記し、下記へはがきで申込んで下さい。原稿用紙をお送りします。
6. 申 込 先：〒 160 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会コンクリート委員会
7. 原稿提出：6 月 30 日までに上記委員会に提出して下さい。原稿は学会指定のオフセット用原稿用紙を使用して下さい。原稿枚数は 6 枚以内とします。
8. 備 考：提出論文はオフセット印刷し、当日配布します。応募数により論文発表は、総括報告方式で行なうこともあります。なお、運営の細部については上記委員会にご一任下さい。

構造物の耐風性に関する第 2 回シンポジウム開催と発表論文の募集

構造物の耐風性に関し気象・土木・建築・電気の各分野における研究成果と技術の交流を目的として標記シンポジウムを開催することになりました。会員各位には下記規定をご参照のうえ発表論文をふるってご応募下さい。

共催：電気学会・土木学会・日本気象学会・日本建築学会・日本鋼構造協会

1. 開催期日：1972 年 12 月 4 日 (月) ~ 12 月 5 日 (火)
2. 会 場：気象庁講堂 (東京都千代田区大手町 1-7, 地下鉄東西線竹橋下車徒歩 3 分) の予定
3. 発表論文の募集：
 - (1) 課題：課題は次によるものとし、論文の内容は独創性のあるものでなければならない
 - a) 強風の性質, 設計風速, b) 風圧および風荷重, c) 風の動的作用と構造物の応答, d) 耐風設計方法, 施工例, e) 風害
 - (2) 応募の方法：a) 論文提出希望者は 1972 年 7 月 31 日までに所属学協会、氏名 (連名の場合は発表者に〇印を付する)、勤務先、職名、連絡先を明記のうえ邦文 800 字以内の内容概要を所属学協会に提出する。
b) シンポジウム組織委員会は発表論文の採否を 8 月 14 日までに決定し応募者に通知する。
c) 採用された論文著者は 1972 年 9 月 30 日までに原稿を所属学協会または幹事学会である日本建築学会 (〒104 東京都中央区銀座 3-2-19, 電話 (03) 535-6511) に提出する。
 - (3) 発表論文：発表論文執筆要項については、論文採否の決定の際、執筆者に改めて執筆要項をお送り致しますが、ページ数は 8 ページ以内 (英文概要を含む) の偶数ページを予定しております。

第 9 回衛生工学研究討論会講演募集

土木学会衛生工学委員会は、下記の予定で研究討論会を実施しますので、論文提出者はご応募下さいますようお願いいたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日 1973 年 1 月末日の 2 日間
3. 場 所：東北大学

4. 論文内容：本年度は自由課題といたします。
5. 申込方法：9月30日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定のオフセット原稿用紙(申込み次第送付)をご使用下さい。原稿枚数は8枚までとし、期限を厳守下さい。昨年と同様、討議論文1～2編を付して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は、希望討議者氏名を同封して下さい。原則として別刷りはお断わりします。
6. 申込先：土木学会衛生工学委員会(〒160 東京都新宿区四谷1丁目)
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

第3回安全工学国内シンポジウム

▶ 5月25日(木)～26日(金) ◀

土木学会、ほか関連学協会の共催により標記のシンポジウムが開催されますのでお知らせします。

1. 目 的：最近における産業の飛躍的發展に伴い、産業界における火災、爆発、破壊、故障、傷害、中毒などの各種災害は、健康阻害ないし生産阻害の因子としてその防止が緊要とされている。このためには安全のための工学が欠くべからざるものである。国内外のこの領域の研究連絡を行なうことを目的として、昭和41年に日本学術会議安全工学研究連絡委員会安全工学分科会が設置された。本趣旨に基づき昭和45年に第1回安全工学国内シンポジウムを開催したが、本年も関連学協会と共催のもとにその第3回を開催するものである。
2. 日 時：1972年5月25日(木)、26日(金) 両日とも10.00分から
3. 会 場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7丁目22番34号 電話(03)403-6291)
交通機関 都バス(四谷～品川)南青山1丁目下車、徒歩1分—国電四谷・信濃町・品川の各駅から連絡
地下鉄(銀座線)青山1丁目下車、徒歩10分
* (日比谷線)六本木下車、徒歩15分
4. プログラム：
 - 5月25日(木)
 - 開会の辞(10.00～10.20) 日本学術会議安全工学研究連絡委員会安全工学分科会 委員長 横 堀 武 夫
研究発表
 - I. (10.20～11.00) 有害物質、有害環境に関する安全工学 (座長 房 村 信 雄)
 - II. (11.00～12.00) 電気に関する安全工学 (座長 田 中 隆 二)
 - (12.00～13.00) 昼 食
 - III. (13.00～14.00) 人間と機械に関する安全工学 (座長 若 林 嘉一郎)
 - IV. (14.00～15.00) 故障を含む信頼性工学 (座長 井 上 威 奈)
 - 5月26日(金)
 - V. (10.00～11.00) 火災、爆発防止に関する安全工学 (座長 上 原 陽 一)
 - (11.00～12.00) (座長 石 浜 涉)
 - (12.00～13.00) 昼 食
 - (13.00～14.00) (座長 柳 生 昭 三)
 - (14.00～15.00) (座長 武 久 正 昭)
 - (15.00～15.10) 休 憩 (座長 橋 口 幸 雄)
 - (15.10～16.10) (座長 橋 口 幸 雄)
 - (16.10～16.20) 閉会の辞 幹事学会 日本機械学会会長 谷 口 修
 5. 懇親会：日 時：5月25日(木)18.00～19.00
場 所：健保会館3階 東京都港区南青山1-24-4 電話 東京(03)403-0531
参加費：1500円
本シンポジウムには全国各地より各学協会会員のみならず関係者が多数参加されますので、これを機会に参加者の親睦をはかり、懇親会を催したいと思っております。多数ご参加下さい。
参加を希望される方は5月18日(木)までに幹事学会へお申込み下さい。参加費は当日会場で申し受けます。
 6. 講演予稿集：全26編の研究発表の要旨をまとめた講演予稿集(B5判オフセット印刷約60ページの予定)を作成し、当日会場で頒布いたします。
当日頒布価格 800円
終了後価格 900円(ただし送料は当方負担)
 7. 問合せ・申込先：〒107 東京都港区赤坂四-1-24 (日本規格協会ビル3階)
日本機械学会内安全工学シンポジウム実行委員会 電話 東京(03)582-6911

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央2丁目2番地 船場センタービル4号館) 409号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

(1) 関西支部年次学術講演会 (昭和 47 年度)

▶ 6月5日 (月) ◀

1. 日 時: 1972 年 6 月 5 日 (月) 9.00~17.00
2. 会 場: 関西大学工学部 電話大阪 (06) 388-1423 番
吹田市千里山 17 (阪急電車千里山線 関大前下車東北へ約 300 m)
3. 講演題目および講師:
 - A 特別講演 (12.55~13.50) 工学部 108 教室
 - 12.55~13.00 換 拶 土木学会関西支部昭和 46 年度支部長 田 中 茂
同 昭和 47 年度支部長
 - 13.00~13.50 職場における人間関係 関西大学教授社会学部 文学博士 広 田 君 美
 - B 一般講演 (発表時間 1 題 10 分) 227 題 (本誌 57 巻 4 月号 130~136 ページ参照)

(2) 鉄骨鉄筋コンクリート (S.R.C.) 設計基準に関する講習会

▶ 7月25日 (火) ◀

共催 (社) 土木学会関西支部・(社) 建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター
後援 (社) 日本鋼構造協会・コンクリート研究会

現在、わが国の S.R.C. 構造物の設計にさいしては、許容応力度方式の累加強度式による日本建築学会の「鉄骨鉄筋コンクリート構造設計規準」、首都および阪神高速道路公団の「鉄骨鉄筋コンクリート設計基準」によるほか、許容応力度方式の R C 式によることが多いのでありますが、土木構造物における一般的な S.R.C. 設計基準については、累加強度式のもつひずみの適合条件の不満足な点、曲げとせん断との統一された方法がとられていない点等から、一般性あるいは普遍性を有するものがないのも現状であります。

すなわち、これらを背景に、既往の文献のまとめと若干の調査研究による補足をを行なって、S.R.C. 構造物の実施設計に必要な一応の指針を得るため、昭和 46 年度に本州四国連絡橋公団より (社) 建設コンサルタンツ協会に「鉄骨鉄筋コンクリート設計資料作成に関する調査」が委託され、昭和 47 年 2 月、これに対する報告書の完成後、担当の S.R.C. 研究委員会において、この報告書全文ならびに計算例等の補足を含む第 3 次 (昭和 46 年度) 報告書の作成が行なわれることになり、ここに、本州四国連絡橋公団のご好意によって、これについての説明を主とした講習会を開催することになりました。

ついては、今後の土木分野において要求度が高まってくると思われます S.R.C. 構造物の設計に関して理解をいただく絶好の機会でもありますので、関係者各位の多数のご参加をおすすめいたします。

記

1. 日 時: 1972 年 7 月 25 日 (火) 9.30~17.10
2. 会 場: 大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地
(地下鉄四ツ橋線本町下車、北へ 150m、靱公園北東角)
3. 題目と講師:
 - 9.30~9.40 開会挨拶 土木学会関西支部支部長
 - 9.40~10.00 ① 調査研究の概要 建設コンサルタンツ協会大阪支部支部長 藤 田 峻 五
 - 10.00~10.50 ② S.R.C. 設計基準 (第 1 次案) の概要 京都大学工学部 岡 田 清
 - 11.00~11.30 ③ 適用範囲、記号、材料、設計荷重、許容応力度、設計計算の一般事項 阪神高速道路公団 杉 山 功
 - 11.30~12.00 ④ 設計計算の一般事項 協和設計 (株) 本 下 稔
 - 13.00~14.20 ⑤ 部材の算定 (はり・柱・スラブ・壁・せん断力に対する算定・付着および鉄筋の定着・ねじり・ひび割れ幅の制限) (株) 新日本技術コンサルタント 小 森 久 信
 - 14.30~15.20 ⑥ 接合部の算定 (ラーメン隅角部の設計・継手・柱脚アンカー部の設計) (株) 橋梁コンサルタント大阪営業所 田 付 久 雄
 - 15.20~16.00 ⑦ 設計計算例 (アンカー部・長方形断面部) 中央復建コンサルタント (株) 熊 本 隆 弘

16.00~17.00 討議 (討論者: 京都大学防災研究所 若林実/同工学部 森田司郎/首都圏道路公団 山寺徳明)
 17.00~17.10 閉会挨拶 (司会: 京都大学工学部 小柳裕)

土木学会関西支部幹事長
 建設コンサルタンツ協会大阪支部副支部長 堀 見 武 弘

4. 定 員: 300 名 (先着順)
5. 参加費: 会員 (後援会員を含む) 3 800 円 (B5・約 350 ページ, オフセット印刷の報告書代を含む)
 ただし, 当日は 5 700 円となりますので期限内に前納して下さい。
 非会員 5 700 円 (報告書代を含む)
 なお, 本報告書は建設コンサルタンツ協会の非売品でありますので, 報告書のみ頒布はいたしません。
6. 申込期限: 1972 年 6 月 30 日 (金)
7. 申込方法: 参加希望者は, 勤務先・連絡先・氏名・会員種別 (所属学・協会名) を明記 (様式随意) し, 参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。なお, 参加者には参加証をお送りしますから, 当日必ずご持参ください。
 (注) 都合により講師の順序に変更があるかもしれませんのでご了承ください。
- 申 込 先: 土木学会関西支部 電話 大阪 (06) 271-6686 番
 (郵便番号 541) 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地
 船場センタービル 4 号館 409 号
 (振替口座 大阪 82599 番)

(3) 講習会「水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題」

▶ 6 月 27 日 (火) ~ 28 日 (水) ◀

1. 日 時: 1972 年 6 月 27 日 (火), 28 日 (水) 9.00~16.00
2. 会 場: 大阪科学技術センター 4 階 401 号室 電話大阪 (06) 443-5321 番
 大阪市西区靉 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北 (150 m 靉公園北東角))
3. 題目と講師:
- 第 1 日 (6 月 27 日)
- | | | |
|-------------|------------------------|-------------------------|
| 9.00~9.10 | 開 会 挨拶 | 土木学会関西支部長 |
| 9.10~10.30 | ① 数値解析の一般的手法について | 大阪大学講師工学部 神 田 徹 |
| 10.40~12.00 | ② 海面の不規則性について | 立命館大学助教授理工学部 理修 柿 沼 忠 男 |
| 13.00~14.20 | ③ 移動砂面の不規則性について | 京都大学教授防災研究所 工博 芦 田 和 男 |
| 14.30~15.50 | ④ 開水路流れにおける速度の不規則性について | 京都大学助教授防災研究所 工博 今 本 博 健 |
- 第 2 日 (6 月 28 日)
- | | | |
|-------------|-----------------|---------------------------|
| 9.10~10.30 | ⑤ 降雨流出について | 近畿地建淀川工事事務所調査第一課長 星 畑 園 松 |
| 10.40~12.00 | ⑥ 貯水池群の運用計画について | 近畿地建淀川ダム統合管理事務所長 藤 原 敏 明 |
| 13.00~14.20 | ⑦ 水系水資源計画について | 近畿地方建設局企画部企画課長 山 口 基 郎 |
| 14.30~15.50 | ⑧ 水系の水質水量管理について | 近畿圏整備本部調査官 藤 野 良 幸 |
| 15.50~16.00 | 閉 会 挨拶 | 土木学会関西支部幹事長 |
4. 定 員: 160 名 (先着順)
5. 参加費: 会員 3 500 円 (テキスト代を含む)
 ただし講習会当日は 5 300 円となりますので期限内に前納して下さい。
 非会員 5 300 円 (テキスト代を含む)
6. 申込期限: 1972 年 6 月 12 日 (月)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別を明記 (様式随意) し, 上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。
 参加者には, 参加証をお送りしますから両日とも必ずご持参下さい。
 参加証のない人は, 入場をお断りします。
 (注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(付) テキスト頒布ならびに送料改正について

	頒 価	送 料
騒音・振動公害一測定と評価の問題点とその動向一	1 500 円	130 円
最近の機械化施工の趨勢と問題点	1 400 円	130 円

都市廃棄物の処理と処分	1 000 円	100 円
土木工事における土中水の扱い方	1 800 円	130 円
工程管理（演習問題解答付）	1 800 円	160 円
講習会「工程管理の基礎」資料（残部僅少）	500 円	90 円
シールド工法研究会資料		
（地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点 の2点1組）	200 円	90 円
公害振動測定法（案）	無 料	60 円
昭和 46 年度関西支部	{ 正 会 員 学生会員 非 会 員	200 円
年次学術講演概要		100 円
		700 円
工事の安全対策	600 円	130 円
近畿開発と大型土木プロジェクト	350 円	100 円
写真測量とその応用	700 円	130 円
次のテキスト2点は昭和 47 年 12 月 30 日以降廃棄処分の見込みです。		
水理学・水文学における最近の進歩	900 円	160 円
プレストレストコンクリート最近の進歩	700 円	130 円
上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込みください。		

「第 16 回 水 理 講 演 会 講 演 集」頒 布

1972 年 2 月 18 日, 19 日の両日, 3 課題 (A. 移動床流れの粗度と河床変動, B. 構造物周辺の流れ, C. 流出解析) をテーマとして発明会館で行なわれた標記講演会の講演集の残部が少しありますので希望者はお申込み下さい。

体 裁 : タイプ印刷 B 5 ・ 156 ページ (付録・昭和 46 年度水理学研究の現況をふくむ)

頒 価 : 1 400 円 (〒 120 円)

申込方法 : 頒価に送料をつけ, 土木学会刊行物係へ直接お申込み下さい。

内 容 : 1. 蛇行流における分散係数の予測 / 2. 河川合流点における流れの機構の研究 / 3. 剪断流中に置かれた平板上の三次元層流境界層 / 4. 二成層流の取水口近傍における挙動 / 5. 水門下流の洗掘について / 6. 円柱橋脚周辺の流れと局所洗掘について / 7. 開水路断面急変部における流れの局所機構について / 8. 管路内跳水における実験的考察 / 9. 粗流の実験的研究—相当砂粒粗度の次元解析的考察 / 10. 実在の河川の河床状況と模型の粗度との関係 / 11. 移動床抵抗における移行現象 / 12. 河川の粗度係数推定法に関する考察 / 13. SAND-WAVES の形成過程について / 14. 河床波の発生について / 15. 再び河川蛇行の成因について / 16. 不規則な SAND WANDS における卓越波と流砂量との関連 / 17. 河床形状の研究に関する技術史的考察 / 18. 降水量時系列を考慮した多地点月流量シミュレーションについて / 19. 流出の非線形性について—流出現象の質的理解への寄与 / 20. 変動降雨による非線形流出系の解析 / 21. 流出系の分析と同定について—河川流域のモデル化を中心に— / 22. 山腹における降雨の滲透と流下について / 23. 洪水発生の特性に関する一考察 / 24. 水理委員会移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会研究発表